

SPARC Enterprise M3000
「Solaris8 Containers」での

磁気テープ装置

「UMT-3000S-UNIX」
「UMT-F490EWS-UNIX/FM」
「UMT-F490EWS-ACL-UNIX/FM」
「UMT-490EWS-ACL-DS-UNIX/UB-UEB」

データ変換ソフトウェア

「TapeTRAN2 for UNIX」

動作検証報告書

2009年1月28日

株式会社ユニテックス

報告書番号：技資 225-2

承認	査閲	担当

Rev	更新日	変更概略
A	2009年1月28日	新規作成

1 概要

富士通製 UNIX サーバ SPARC Enterprise M3000 における「Solaris8 Containers」環境上での、
弊社磁気テープ装置「UMT-3000S-UNIX, UMT-F490EWS-UNIX/FM, UMT-F490EWS-ACL-
UNIX/FM, UMT-490EWS-ACL-DS-UNIX/UB-UEB」およびデータ変換ソフトウェア
「TapeTRAN2 for UNIX(Solaris)」が正常に動作することを確認する。

2 検証場所

株式会社ユニテックス 町田事業所

3 検証期間

2009年1月19日～2009年1月20日

4 検証環境

【環境】

コンピュータ	富士通製 SPARC Enterprise M3000
CPU	SPARC64-VII 2.520GHz
メモリ	32GB
OS	Solaris™ 10 OS 10/08 Solaris™8 (非大域ゾーン)
SCSI カード	SE0X7SC2F (Ultra320/PCI Express)
ソフトウェア	Sun Solaris8 Containers 1.0.1 TapeTRAN2 for UNIX(Solaris) 2.6.1

【使用ドライブ】

- ・UMT-3000S-UNIX
- ・UMT-F490EWS-UNIX/FM
- ・UMT-F490EWS-ACL-UNIX/FM
- ・UMT-490EWS-ACL-DS-UNIX/UB-UEB

【使用メディア】

- ・9トラックテープ(2400feet)
- ・カートリッジ磁気テープ 3490E

【使用データ】

- ・64MB (67108864Byte)

【構成図】

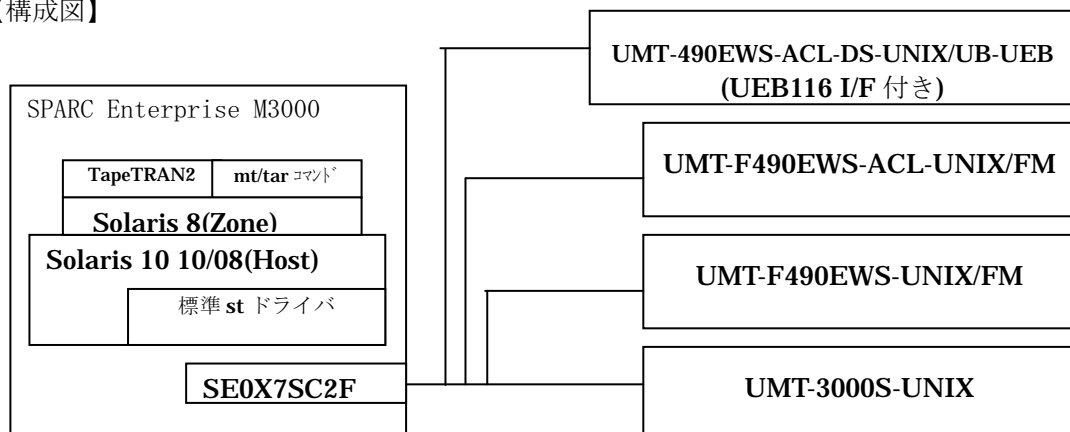


図 1.SPARC Enterprise M3000 動作検証環境

5 検証内容

非大域ゾーンの Solaris8 からの装置認識

- ・ Solaris8 ゾーンへの磁気テープ装置の構成
- ・ 装置の認識確認
- ・ tar コマンドによる書込み・読み込み動作確認

TapeTRAN2 for UNIX (Solaris)

- ・ mt コマンドによるテープ操作確認
- ・ tapetran コマンドによる書込み・読み込み動作確認

6 検証結果

非大域ゾーンの Solaris8 からの装置認識

- ・ Solaris8 ゾーンへの磁気テープ装置の構成 : 正常
- ・ 装置の認識確認 : 正常
- ・ tar コマンドによる書込み・読み込み動作確認 : 正常

TapeTRAN2 for UNIX (Solaris)

- ・ mt コマンドによるテープ操作確認 : 正常
- ・ tapetran コマンドによる書込み・読み込み動作確認 : 正常

7 結論

富士通社製 UNIX サーバ SPARC Enterprise M3000 における「Solaris8 Containers」環境上にて、弊社テープ装置「UMT-3000S-UNIX, UMT-F490EWS-UNX/FM, UMT-F490EWS-ACL-UNIX/FM, UMT-490EWS-ACL-DS-UNIX/UB-UEB」およびデータ変換ソフトウェア「TapeTRAN2 for UNIX(Solaris)」が正常に動作する事を確認した。

8 お問い合わせ先

株式会社ユニテックス

Tel : 042-710-4630

Fax : 042-710-4660

E-Mail : sales@unitex.co.jp

Web Site トップページ: <http://www.unitex.co.jp/>

製品ページ: <http://www.unitex.co.jp/products/cmtmt/index.html>

— 以上 —